

議会広報

第22号

2011.7.28

# おみたま

6  
月  
定  
例  
議  
会

"プレミアム商品券"で消費拡大 P 2

震災復興・復旧 年度内完了めざす (委員会QA) P 4-6

防災計画 早期見直しを (一般質問) P 7-15

プレゼントクイズ、市民の声ほか P 16-17

再び 議員定数削減へ P 18

# 平成23年第2回定例議会(6/3～17)

## 災害復旧経費として 総額9,541万円を可決

平成23年の第2回目となる定例議会が15日間の会期で開かれ、10件の議案等と1件の陳情について審議しました。今回の補正の主なものは、消費需要低迷の喚起を図るために発行される「小美玉市元気再生プレミアム商品券」発行事業補助金や災害復旧費などです。

### ▼これまで大震災に伴い計上された補正予算

- 市民生活の支援 約2億200万円
  - ・住宅災害見舞金など
  - ・災害廃棄物処理事業など
- 公共施設の修繕 約1億400万円
  - ・本庁舎、分庁舎、農業会館など
  - ・納場小学校、美野里中学校など
  - ・防火水槽施設など
- 都市基盤の修復 約5億5,700万円
  - ・道路、橋など
  - ・下水道など
- 産業の振興 約3,600万円
  - ・農業用施設の復旧
  - ・プレミアム商品券の発行



保険の請求や税の減免などの手続きに必要な「り災証明書」の発行や「災害見舞金」の申請受付が12月末まで延長された

(本庁舎、地域振興課前)

発行額1億1,000万円  
「小美玉市元気再生プレミアム商品券」で地域の活性化を!

東日本大震災に伴う風評被害による買い控えや低迷する市内の消費需要の喚起、個人消費や顧客の拡大、ひいては地域経済活性化を図ることを目的に、小美玉市商工会が、プレミアム商品券を発行します。1万円で1万1,000円の買物ができるお得な商品券です。

#### 【販売日時・場所】

○特別販売 8月7日、  
午前9時～午後4時、  
四季文化館、小川文化セン

ター、生涯学習センター

○通常販売 8月8日～(平日、

#### ■質疑

##### (福島議員)

- ・「議案52号、一般会計補正」中小企業活性化事業(プレミアム商品券発行事業)の商工会への委託内容等
- ・「議案54号、病院会計補正」施設整備内容等

##### (小川議員)

- ・「議案52号、一般会計補正」中小企業活性化事業(プレミアム商品券発行事業)の具体施策
- ・「議案53号、下水道特別会計補正」公共下水道災害復旧費

### 6月定例議会日程

日程	会議等の主な内容	傍聴
3日	本会議 (開会、行政報告、議案上程)	3名
7日	本会議(一般質問)	5名
8日	本会議 (一般質問、質疑、委員会付託)	4名
9日	総務常任委員会	—
10日	文教福祉常任委員会	—
13日	建設常任委員会	—
14日	市民経済常任委員会	—
15日	百里基地対策委員会	—
16日	議会広報委員会	—
17日	議会運営委員会 本会議 (報告、討論、採決、閉会)	4名

午前9時～午後5時)商工会本所。(平日、午前9時～午後3時)商工会小川支所  
【販売額】1冊1万円(1,000円券9枚。500円券4枚。合計1万1,000円相当額)  
※1人、5万円まで購入できます。  
【有効期限】平成24年1月31日まで  
\*詳細は「広報小美玉お知らせ版(8月号)」やチラシなどをご覧ください。

## 6月 定例議会 審議結果 (全 11 件)

雑損控除? . . . 地震などの自然災害や火災などの人的災害などによって住宅や家財に損害があったときに、所得控除されるもの。

No	議案等の名称 ~主な内容~	結果	委員会審査
----	---------------	----	-------

### ■ 専決処分の承認 (1 件)

5	税条例の一部を改正する条例 ~地方税法等の一部改正に伴い、東日本大震災に係る個人住民税の雑損控除額等に特例措置を設けるもの~	◎	- -
---	---	---	-----

### ■ 条例の一部改正 (4 件)

48	特別職の職員で非常勤のもの の報酬及び費用弁償に関する条例 ~病院事業に関する計画を策定するための、市病院事業のあり方検討委員会委員の報酬を定めるもの~	◎	文 ◎
----	--	---	-----

49	自転車駐車場の利用及び管理に 関する条例 ~かしてつ跡地バス専用道路にバスシェルター付帯施設の自転車駐車場を設置するもの~	◎	建 ◎
----	---	---	-----

50	運動公園条例 ~小川運動公園内に新たに多目的室を設置したこと に伴い使用料を定めるもの~	◎	文 ◎
----	--	---	-----

51	災害弔慰金の支給等に関する条例 ~東日本大震災に対処するための特別の財政援助 及び助成に関する法律の改正に伴うもの~	◎	文 ◎
----	--	---	-----

No	議案等の名称 ~主な内容~	結果	委員会審査
----	---------------	----	-------

### ■ 平成 23 年度 補正予算 (3 件)

52	一般会計 補正額 1 億 3,964 万円↑、補正後額 209 億 6,935 万円	◎	各 ◎
----	---	---	-----

53	下水道 補正額 3,530 万円↑、補正後額 19 億 6,231 万円	◎	建 ◎
----	---	---	-----

54	病院 [事業勘定] [資本的収入] 補正額 3,150 万円↑、補正後額 3,150 万 1 千円 [資本的支出] 補正額 3,250 万円↑、補正後額 7,736 万 6 千円	◎	文 ◎
----	---	---	-----

### ■ 人事案件 (1 件)

教育委員会委員の任命 (追加提出) ~任期満了に伴い、澤島 照子 氏を再任~	◎	- -
---	---	-----

### ■ 陳情 (1 件)

3 大幅増員と夜勤改善で安全、安心の 医療・介護を求める陳情	×	文 ×
-----------------------------------	---	-----

### ■ 議員発議 (1 件)

1 市議会議員の定数を定める条例の 一部改正 ~議員定数を「24 人」から「22 人」に改めるもの~	◎	- -
--	---	-----

### 審議結果の表記・見方

[審査委員会] 総：総 務、文：文教福祉、市：市民経済、建：建設、各：各所管委員会  
[賛 否] ◎：全会一致で可決 (または承認、同意)、×：賛成少数で不採択

- 一部事務組合委員の変更 議員の欠員により、湖北環境衛生組合議会議員に福島ヤヨヒ氏が選出されました。

## 「永年勤続表彰、を受賞

### ■ 全国市議会議長会

- ◇ 感謝状 (評議員) 野村武勝
- ◇ 表 彰 (10 年以上) 田村昌男、笹目雄一

### ■ 茨城県市議会議長会

- ◇ 表 彰 (8 年以上) 山口良元、萩原 茂



## 次の定例議会は 9月5日 (月) 開会です

9月議会 日 程	会議等の内容	傍 聴	
		議 場	モニター 中 継
5日 (月)	本会議 (開会、議案説明)	可	有
8日 (木)	本会議	可	有
9日 (金)	(一般質問、議案質疑)	可	有
12日 (月)	委員会 (~ 16 日)	要確認	無
20日 (火)	本会議 (報告、採決、閉会)	可	有

- \* 議場は本庁舎 3 階にあります。議場内での傍聴には簡単な受付 (氏名・住所等の記入) が必要です。
- \* 本庁舎・各支所に設置する TV モニターでの中継はご自由にご覧いただけます (受付は不要)。
- \* 委員会等の日程については 9 月 2 日に開催する議会運営委員会で協議します。

# 委員会 審査 Q & A

## 各委員会で付託された 8 議案を審査

本会議で付託された 8 件の議案について、9 日から 16 日にかけて行われた各委員会で審査しました。各委員会での審査状況について、主な質疑応答の内容をお知らせします。

総務

(委員)

口川 宅田 村島  
関 小 大 村 中 福

### 大震災による被害への修復見込み

Q 今回の補正予算で計上された復旧経費の内容は?

A 緊急を要する経費として計上されているのは、公共施設関係で本庁舎、農業会館等の修復のほか、防火水槽 3 基の破損漏水等の修繕などです。

また、り災台帳整理のための人員費、緊急消防援助隊派遣による職員手当等が主なものです。



大震災により天井ルーバーが崩落する等大きな被害を受けた議場。5 月末に修復工事が完了し、無事、第 2 回定例議会を本議会議場で開会（本庁舎 3 階、議場）

Q 今回の補正予算の対応で修復関連事業は完了となるのか?

A 市の公共施設について調査したところ、各建物の構造強度上では問題ありません。

現在、把握している内外壁等の修繕については、今回の補正予算でほぼ計上されていますが、今後、予期せぬ事態があれば、都度、補正予算で対応していきます。

### 固定資産税の減免措置は

Q 固定資産税の減免措置の対応状況は?

A 各被災者からの申請に基づき、り災調査を行った上で、全壊、大規模半壊、半壊と判定された家屋について、固定資産税の軽減を行っています。

Q 現在までの実施状況は?

A 6 月 1 日現在、家屋が 68 件、土地は 11 筆の調査が終了し、総額で 1 7 8 万円の軽減が確定していますが、確認作業は、まだ、家屋及び土地に関する申請件数約 2 4 0 0 件のうちの 3 ～ 4 程度という状況ですので、今後調査が終了次第、総額等を報告します。

### 緊急消防援助隊を派遣

Q 大震災に係る緊急消防援助隊派遣事業の経費は全額県が負担するものだが、今後も派遣依頼はあるのか?

A 緊急消防援助隊活動出勤指示により本市消防職員を派遣するものですが、6 月 6 日で福島県派遣の援助隊は、一旦全員引き上げました。今後の福島県の災害発生状況により、更なる緊急援助隊の派遣が予測されます。



応援要請を受け、福島県へ出動する小美玉市消防隊員。全国では、大震災により 6 月 6 日までの 88 日間で 7 5 7 7 部隊が活動し、派遣人員総数は延べ 1 0 万人を超えた

## 文教福祉

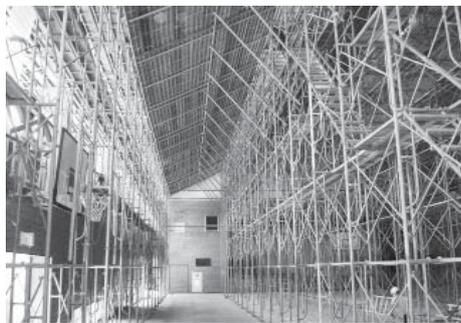
(委員) 口本 瀬井本  
山岩 名木 藤山

### 教育施設等の災害復旧経費は

Q 今回補正で計上されている教育・福祉関係施設の災害復旧経費の内容は？

A 学校施設では、美野里中の外トイレ復旧と旧技術室の解体、玉里中の武道場解体などの工事が主なものです。また、各地区公民館や小川図書館・資料館、3地区の保健センターにおける内外壁損傷などの補修工事です。

○被災した各施設については、市民のために早急に復旧するよう対応をお願いしたい。



教育施設等の復旧工事は夏休みを利用するなどして9月末日完了をめざし、急ピッチで進められている（玉里中体育館）

### 給食費の未納問題への対応は

Q 現在の給食費の未納状況は？

A 平成22年度未現在の未納額は約130万円です。

Q 給食センターになって、市が未納金徴収することになったが、これまでの対応は？

A 子ども手当から徴収できるよう未納者と連絡を取りました。また、夏休み期間には学校と協力して納入の督促をしていきたいと考えています。

○きちんと納めている人が不公平感を感じないように、徴収努力をお願いしたい。

### 医療センターにMRIを設置

Q 病院改修費の内容は？

A 指定管理者がMRIを設置するにあたり、市が場所を整備するための費用と、震災被害による配膳用エレベーターの外壁修理のための費用です。

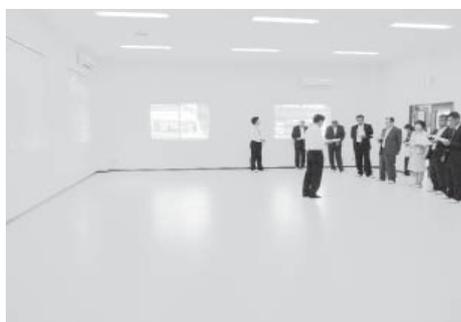
○MRIが導入されれば、高いレベルの医療が受けられ、疾患の早期発見などにつながると思っています。地域医療の更なる充実を期待します。

### 小川運動公園に多目的室を新設

Q 多目的室にトイレがないのは？

A 当初既存の体育館を改修して、地域のコミュニティ活動にも利用できるよう多目的化する計画でしたが、構造上の問題や整備期間等の問題から、体育館に隣接し多目的に利用できる施設を新たに建設しました。内部にトイレを設置することは検討しましたが、体育館と相互に入りできる渡り廊下を設置し一体的利用が可能となったことから、体育館の既存トイレを共用することとしました。

○今後、住民の利用状況により、利用しやすい施設となるよう検討していただきたい。



小川運動公園体育館に隣接して新設された多目的室。大小2室あり、地域のコミュニティづくりや地域振興活動の支援に活用されることが期待される

## 市民経済

(委員) 原藤 村田  
萩加 野戸

### 風評被害における買い控え対策「元気再生プレミアム商品券」

Q 補正予算に計上する元気再生プレミアム商品券発行事業補助金の仕組みは？

A 補正額1,000万円は、中小企業活性化事業の補助金で元気再生プレミアム商品券発行事業補助金として、商工会へ補助するものです。

内容は、このたびの大震災（福島原発）に伴う風評被害における買い控え対策として実施するもので、発行額1億円、額面は1億1,000万円、プレミアム分として1,000万円、そのプレミアム分の8割800万円（2割の200万円は商工会負担）と事務費（商品券、啓発ポスター、チラシ等の制作費）に係る経費の8割分として200万円を限度として、合計1,000万円を補助するものです。

プレミアム?・・・額面以上に上乗せされた金額。転じて、付加価値を指す。今回発行される商品券には、1万円につき、1,000円のプレミアムが付く。



停電中、市災害対策本部が置かれた四季文化館（みの〜れ）では、この自家発電機の稼動により本部機能を維持した

をとりました。

○ 非常時に必ず利用できるよう数年に1度は実際に動かしてみる等の確認をお願いしたい。

**被災住宅の被害程度の調査判定は**

Q 今回、建築士災害派遣委託料の補正をとっているが、被災した住宅の被害程度の判定はどのように行っているのか?

A 被災した住宅の被害程度の判定は、写真等を添付した申請書を受付けし、税務課職員による現地調査によつて1次判定を行っています。その1次判定に納得がいかない旨の申し出があった場合は、建築士による2次判定が必要となります。



市職員による被害調査。6月24日現在で、660件の調査が終了している

**建設**

(委員) 目谷川和田村  
笹古荒大市田

**BRTバス専用道の自転車駐車場の新設箇所は**

Q かつて跡地バス専用道に新設された自転車駐車場の名称及び位置は?

A 玉里駅自転車駐車場は、かつてが使っていた既存の駐車場を使い、その他、新高浜駅自転車駐車場と木ノ内自転車駐車場の2カ所を新設します。

**下水道事業の補正内容は**

Q 補正予算に計上する修繕費の内容は?

A マンホールの高さ調節を行うためのもので、60カ所分です。

Q 液状化でマンホールが上がってしまった以外に地盤の関係や地域差ばかりでなく、業者の埋め戻しの段階で問題はなかったか?

A 確かに締め方の弱い部分があるかとは思いますが、マンホールの周りというのはそれほど強く締め付けが

されていないと考えています。今回の場合は、想定外の大地震が原因なので、締めが弱いのかの判断は付け難いと思われれます。

Q ゆな(山砂)を入れるから液状化に弱いのでは?

A 公共下水道の修繕については、砂利等で行う予定です。農業集落排水事業は県の指導で改良土を使う予定です。しかし、まこもや元々地盤が弱いところは、液状化が起き易いと思われれます。



市内各所で、液状化によるマンホールの隆起が見られた

(貝谷地内)

Q 四季文化館に備えてある自家発電機のメンテナンスは年に何回か必要となるのか?

A 東日本大震災による停電時に初めて使用したディーゼルエンジンの発電機は、設置後8年が経過しているため、エンジンオイルをはじめオイルエレメントその他の部分を分解して点検する必要があります。また、保障期間(8年)が切れる間際に地震が起これ、電気が復旧するまでの3日、4日間連日稼動したわけで、その後、メンテナンスの時期がきたわけで、同じようなことがあった場合に再稼動するかという心配があったため、詳細に見てもらおうよう見積

# 市民の声を市政に 一般質問

## 住みやすいまちを目指して

平成23年第2回定例議会で行われた一般質問には、8名の議員が市政に関する22項目について質問や提言を行いました。（実施日：6月7、8日）紙面の都合によりダイジェスト版（一部掲載）としてお知らせします。

質問全文は議会ホームページまたは市内の各図書館に設置する会議録でご覧いただけます。今定例議会の会議録は9月ごろに発行の予定です。



（7月2日、水戸ホーリーホックサッカー教室、希望ヶ丘公園にて）

### 1. 藤井 敏生（8ページ）

- ① 東日本大震災の検証  
（答弁：市長公室長、市民生活部長、産業経済部長）

### 2. 山本 信子（9ページ）

- ① 東日本大震災からの復興（義援金、市災害見舞金、農業・畜産業者への早期仮払い）  
（答弁：市民生活部長、保健福祉部長、産業経済部長）
- ② 節電への取り組み  
（答弁：市民生活部長）
- ③ 予防接種  
（答弁：保健福祉部長）

### 3. 福島ヤヨヒ（10ページ）

- ① 大震災への対応  
（答弁：市民生活部長、保健福祉部長、都市建設部長）
- ② 節電対策  
（答弁：市民生活部長）
- ③ 職員配置の適正化  
（答弁：総務部長）

### 4. 萩原 茂（11ページ）

- ① スポーツシューレ公園の建設・管理運営  
（答弁：教育次長）
- ② 防災対策  
（答弁：市民生活部長）
- ③ 学校教育環境の充実  
（答弁：教育次長）
- ④ 給食センターの運営状況  
（答弁：教育次長）

### ⑤ 子どもたちの安全な遊び場の確保

（答弁：教育次長）

### 5. 小川 賢治（12ページ）

- ① 放射線測定器  
（答弁：市民生活部長）
- ② 入札状況報告書  
（答弁：総務部長）

### 6. 田村 昌男（13ページ）

- ① 市内公共施設の復旧・復興  
（答弁：市長公室長）
- ② 風評被害  
（答弁：産業経済部長）

### 7. 関口 輝門（14ページ）

- ① 東日本大震災からの復旧・復興策  
（答弁：副市長）
- ② 小美玉スポーツシューレ公園事業  
（答弁：教育長）

### 8. 戸田 見成（15ページ）

- ① 災害発生時の庁舎機能  
（答弁：市民生活部長）
- ② 復興計画の立案  
（答弁：市長）
- ③ スポーツシューレ公園  
（答弁：教育次長）
- ④ 小川・玉里地域の将来計画  
（答弁：都市建設部長）

被災者生活再建支援制度?・・・住宅が全壊または大規模半壊した世帯に、申請に基づき、住宅の被害程度・再建方法に応じて支援金を支給する制度。



藤井 敏生

## Q .安全・安心の暮らしを取り戻す 大震災の検証と防災計画の見直しを

### A .防災無線の整備、情報手段の確保等 災害に強いまちづくりを検討

**Q 災害復旧の進捗状況は**  
震災後、市の災害復旧計画事業が詳細に示されたが、特に公共施設の被害が大きく、市民が利用するのに不便をきたしている施設が見受けられる。公共施設の今後の復旧見直しについて伺いたい。

**A 市長公室長** 本格的な復旧に取り組むため、4月8日、地域防災計画に基づく災害復旧対策本部を設立し、災害復旧計画を策定しました。

計画では、市民生活・公共施設、都市基盤、産業の復旧の4つの分野に目標を設定し、具体的な業務の設定と効率的な復旧業務を進めるため、約30名のプロジェクトチームを立ち上げ、災害復旧業務管理シートを作成し、102の業務に取り組んでいるところです。

このうち、短期(今年度9月末完了)が62件、中期(年度内完了)が31件、長期(次年度以降継続)が9件あり、すでに完了した業務が15件ありますが、長期に分類された施策については、被災者に対する生活再建支援制度など、年度



震災直後直ちに設置された市災害対策本部では、被災状況の確認とその応急処置に追われた

を越しても申請を受け付けるもの、防災計画の見直し・地域防災計画の見直しなどで、今回の震災を機に見直しを始めており、市民の皆様や専門的な関係機関のご意見をいただきながら協議していきます。

なお、今回の震災に伴う復旧計画は年度内完了を目指し、将来的なまちづくりの観点からは、災害に強いまちづくりを推進していきます。

### Q 出荷制限を受けた農畜産物 被害の3、4月分の請求額は

**A 産業経済部長** 県においては、3月21日にホウレンソウとカキナ、

3月23日に原乳とパセリの出荷制限を受けたことにより、本市のホウレンソウと原乳についても出荷制限や販売の自粛を余儀なくされました。また、出荷制限を受けてないニラ、イチゴ、キュウリ、レノンコンなどの野菜類が小売業者や消費者に敬遠され、市場での出荷調整や価格の大幅な下落といった甚大な損失を被っています。

こうした状況を受け、JAや県などで組織した東京電力原発事故農畜産物損害賠償対策茨城県協議会が設立され、県では85億790万円を請求しており、その中で、本市は、3億8200万円余りを3月、4月分として請求しています。

また今後も、農協以外の出荷者を含め、同小美玉市協議会より毎月請求を行ってまいります。



原発事故に起因する出荷制限や風評被害により、市内の酪農家も打撃を受けた

クールアースデー?・・・地球環境の大切さを国民全体で再確認するため、7月7日(七夕の日)に、家庭や職場などで一斉にライトダウンを行い、低炭素社会への取組を推進する日。

## Q. 災害時に強い 情報伝達手段の確保は

### A. 移動系の携帯型無線機と 市内全域に個別受信機を整備



山本 信子

#### Q 防災行政無線等の整備計画は

今回、災害時の頼みの綱のはずの防災行政無線が全く機能しなかったが、今年度行われる防災行政無線の整備では、災害に強い最新の防災無線が整備されるのか。また、それはどのような機能を備えているのか。

#### A 市民生活部長

現在使用している防災行政無線は、合併前の各施設をそのまま使用していることから、今年度より市内全域に個別受信機を整備していきます。今年度は、個別受信機等に電波を送信する親局と、災害対策本部と各作業員等が通話を可能とする移動系の携帯型無線機の整備を行った後、順次各避難所への設置も行い、災害対策本部と随時連絡がとれるようにすることで、避難所や避難所周辺の状況に応じた迅速な対応が図られるよう整備していきます。

また、26年度の完了を目指し、既存の子局(屋外スピーカー)の老朽化が激しい美野里地区を始めに玉里地区、小川地区の順に個別受信機を整備しながら、併せて各避難所への子局(屋外スピーカー)

を整備していきます。

なお、今回の震災時の停電により、重要な災害情報をお伝えすることができなかつたことを深く反省し、停電等の非常時においてもその機能が一定期間保てるよう、また重要な情報を聞き逃した場合にでも再確認ができる録音機能を備えた機種を整備し、適正な維持管理を行っていきます。

#### Q 避難所の備蓄資材の充実

#### A 市民生活部長

今回の震災を教訓にし、長期間保管が可能な毛布や発電機、照明器材、暖房機器、扇風機などの確保について可能な限り備蓄できるように検討していきます。また、非常食については、一定量の備蓄と併せて、炊き出しに必要なお米や食材の確保が迅速に行えるよう市内のJAなどと連携していきたいと考えています。

ディーゼル発電機については、大型の設備を稼動するのに必要となり、公共施設には、各施設に非常用電源として整備しておりますが、万が一既存の発電機が故障し

た場合を想定し、関係企業と連携協議し、迅速に対応できるように準備していきます。

#### Q クールアースデーの取り組み

#### A 市民生活部長

大震災の影響により、今年の夏は、例年にも増して電力不足による節電対策が余儀なくされることが予想されることから、本市でも、その一端を担う県央地域一斉ライトダウンを積極的に推進します。実施日は、7月7日、木曜日の午後8時から10時までの2時間で、市内公共施設と事業所及び一般家庭に対してチラシ等を配布し、協力を呼びかけます。趣旨をご理解のうえライトダウンの取り組みにご協力をお願いします。

政府広報

**今日は  
クールアースデー**

～あかりを消して  
大切なものをみつめよう～

今日は地球環境の大切さを考える「クールアース・デー」です。夜8時から、全国各地のライトアップ施設やネオンを一斉に消灯する「七夕ライトダウン」を実施します。あかりを消して、地球の声を耳を澄ませてみませんか。

HP <http://www.coolearthday.jp/>

環境省  
地球と  
抑制と地球  
消費量の抑制と地球  
電力消費量の抑制と地球  
消灯による電力消費量の抑制と地球  
温暖化問題の啓発を目的として呼びかけ  
(政府広告)



福島ヤヨヒ

## Q. 家庭用太陽光発電の補助創設と効果的な節電目標を

### A. 「小美玉市節電実行計画」を策定 15%以上の節電に努める

**Q 節電対策の取り組みは**  
 今回の大震災により、多くの発電所が被害を受け、電力不足が見込まれ節電が呼びかけられている。本市でも無駄な街灯等の消灯や夏時間の設定などの節電目標を掲げ、効果的な取り組みをすべきではないのか。

**A 市民生活部長** 市では、国、県の節電実行計画基本方針を踏まえ、15%以上の節電目標を掲げた実施計画を6月中旬に策定すべく準備に着手しています。現在、施設及び駐車場のライトアップ照明を必要最低限の照明に切り替える等してありますが、道路照明灯については、交通の安全、市民の安全に影響がないかどうか確認したうえで、消灯する照明等の特定作業を進め、東京電力に申請を行い、節電に努めていきます。

#### Q 太陽光発電設置に市の補助を

**A 市民生活部長** 太陽光を利用して電気を自家発電で賄い、さらに余った電力を電力会社に売って活

用できる太陽光発電システムは、現在、国で1キロワットあたり4万8,000円（H25年度まで）の補助が実施されています。本市でも太陽光発電は、自然エネルギーの利用を促進し、地球温暖化の防止に役立つことから、補助金の創設を前向きに検討していきます。

創設時期については、設置場所が一般的に家屋の屋根であることから、今回の震災で被害を受けた住居の修繕、復旧状況を見定め、適切な時期に行っていきます。

#### Q 避難場所の総点検・耐震化は

**A 市民生活部長** 防災ハザードマップは自然災害を予測し、被害の範囲及び程度、避難経路、避難場所などの情報を地図上に示したもので、H21年度に策定し、全戸配布したのですが、今回の災害



21年度に各家庭に配布されたハザードマップ。避難場所の見直しが検討される

を踏まえ、各地域の身近な集会所や公民館の利用のあり方などを徹底検証し、避難場所等の見直しを図ります。また、指定避難所の耐震診断を早急に着手できるように検討していきます。

#### Q 適正な人事異動と人員の確保を

**A 総務部長** 人事異動については、職員の適性と労働意欲を考慮し、それに見合った部署に配置する適材適所の考え方と、職員の勤務実績や能力を評価した上で、より適していると判断される部門において積極的に人材を活用する能力活用の2つの視点を基本に行っています。人員（人件費）削減については、市町村合併のメリットであり、簡素で効率的な組織構築には不可欠です。その反面、人員削減によって、住民サービスの低下を招くことがあってはならないという考え方も地方自治体として当然のことです。この両者の均衡を保つための工夫を怠らず、今後も職員の定数については適正化を図っていきます。

## Q. 学校給食センターの安心対策は安全・信頼性の高い地元産を

### A. 地産地消に努め、非常時でも稼働できる施設整備の強化を検討



萩原 茂

#### Q. 給食センターの運営状況は

給食センターの食材の調達は、安全性や信頼性が身近で容易に確認できる市内の食材を調達することが最良であると考えられるが、市内の食材をどのくらい調達しているのか。また、小美玉給食センターはオール電化を採用しているが、災害による停電時でも稼働できる対策はとられているのか。

#### A 教育次長

H21年度に策定した食育推進計画により地産地消の取り組みを進めており、学校給食では地元産の食材を使用する割合を品目数ベースでH19年度の実績31%に対し、H26年度の目標値を35%と定めています。実際には、H21年度で、既にH26年度目標の35%に達しており、国・県の目標値である30%を上回っています。この35%のうち小美玉市産は7%でしたが、現在はさらに茨城県産が37%で2%アップし、小美玉市産が14%と7%アップしています。

また、今回の震災により長時間の停電が発生し、その間給食調理機能が停止しました。小美玉給食センターは電気、玉里給食センター

はプロパンガスを基本とする方式ですが、御飯を炊く過程には共通して電気が必要であり、停電の間に支障があったことは否めない事実です。

今後、給食センターが非常時対応の重要な施設として位置付けられれば、発電設備をはじめ非常時に対応できる施設の強化が必要になると考えられます。



地元でとれた米、ニラ、チンゲンサイ、大根、コマツナ、ネギ、にんじん、ミズナなどを学校給食に使用。全体の食材の7%を占める

#### Q. 子どもたちの安全な遊び場は

#### A 教育次長

子どもが安全に遊べる空間は、市内全体を見渡すと、美野里地区では四季の里前の芝生広場、小川地区では、中延、野田、

下吉影地区にある野球場と銘打っている広場を始め、地区内各所に緑地広場等が15カ所以上あります。

これらは、いつでもだれでも利用できる場所として常時開放されておりますので、子どもたちの地域の遊び場として広く有効活用いただけると思います。

#### Q. スポーツシュール公園予定地は

#### 液状化の心配はないのか

#### A 教育次長

H21年度に行った公園計画対象地の地質調査では、地盤の液状化に対する検証を行っており、本計画対象地は固い地盤が広がる地域で、一般的には液状化が起こらないとされ、液状化が地表面上に建設される施設などに影響を与える可能性は低いとされています。

## Q. 市民の不安解消を図るため 放射線測定器の独自購入を



小川 賢治

## A. 幼児、児童を扱う施設を最優先 定期的に測定、安全確認を図る

**Q 市内の放射線量測定の結果は**  
東京電力福島第1原子力発電所の事故による放射線の影響が心配されている。県は5月10日、県民の不安を解消を図ることを目的に県内全市町村に放射線量測定器を配布したが、本市での測定結果は。さらに、市独自で購入する計画を提言する。

**A 市民生活部長** 配布後直ちに影響を受けやすい幼児や児童を扱う施設を最優先と考え、各保育園、保育所、幼稚園、小学校等において地表面から約50センチ、中学校は1メートルの位置で測定を実施しました。文部科学省からは、学校の校舎や校庭の利用判断に係る暫定的な考えとして、1時間当たりの放射線量が3.8マイクロシーベルト未満であれば特段の制約はされないとしており、現在のところ、本市ではいずれの場所においても健康に影響を及ぼす値は観測されていないことから、安全が確認されています。

今後も定期的な測定を継続しながら、速やかにホームページや広報紙等で市民に広く周知を行います。



幼稚園、小中学校等で定期的な放射線量測定を行い、市のホームページで公表。いずれも屋外活動制限値の3.8マイクロシーベルトを大幅に下回った

さらに、市でも放射線量測定器を3器購入し、現在、県が本庁舎駐車場で行っている月2回の測定に加え、各庁舎においても測定を実施していきます。

## Q 予定価格に対する落札価格とその差異について

**A 総務部長** 落札率100%のもの、すべてコンサル業務及び物品役務によるものです。これらについては、入札前に予定価格を定めておりますが、予定価格については事前公表していません。予定価格の範囲内で最低の価格をもって入札した者が落札者となります。

す。適確な積算により、予定価格と同額か予定価格に近い入札金額になったものと思われれます。さらに2回の入札によっても予定価格範囲内に達せず、随意契約に切り替えて見積りを行った結果、予定価格に近い金額に決定することもあります。低い落札率となった入札についても、物品役務に関するものでありますが、物品役務の落札率が85%程度であり、入札案件によっては、予定価格に対し低い金額で落札される場合があります。その場合、業務を委託する所管課において、適切な履行がされるよう確認していきます。今後とも、入札にあたっては適切に実施していきます。



茨城県と県内市町村が共同運用する電子入札システムのホームページ  
(アドレス: <http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/doboku/01class/class03/ebid/index.html>)

モニタリング調査?・・・放射線などが水質や自然環境などの環境要素に影響を及ぼしていないかどうか、定期的な調査あるいは測定器を用いて調査、監視すること。

## Q. 終息見えない原発事故の余波 風評被害及ぶ農畜産家への対策は

### A. 安全性の確保・検証に努めながら 各種イベント等で魅力アピール



田村 昌男

#### Q 農畜産物への風評被害対策は

原発事故により、農産物等が出荷停止や制限を受け、農家や酪農家の方が経営悪化に苦しんでいる。また、原発事故が解決されないことから、今後出荷される作物(米、ジャガイモ、梅、栗、柿)についても影響があるものと考えられるが、その対策は。

#### A 産業経済部長 原発事故の影響

一部野菜や原乳などから放射性物質が検出されたことにより、被災地に近い茨城県は買い控えによる影響を受け、本市も同様で、この傾向は現在も続いていると認識しています。これらの風評被害を防止するため、県や国では定期的なモニタリング調査を行い、安全の確認を図っています。また、小美玉市を含む茨城県産の原乳については、4月10日に安全性が確認され、出荷制限が解除となり、翌11日からは出荷を再開し、6月は県の牛乳普及協会と牛乳月間の消費拡大キャンペーンを実施しているところです。

このような状況を踏まえ、本市の取り組みとしては、4月19日に原発事故に伴う農畜産物に対する

補償と風評被害対策について、一時金の早期払いの実現などを求めた農家救済策を、市と市議会の連名により茨城県知事に要望しました。また、5月の連休を利用して茨城空港での復興イベントを実施し、多くの来場者に本市の魅力、元氣、底力をPRしました。7月には、県外でも本市の農畜産物、商工業製品の魅力や安全性を広くアピールするイベントを計画しています。また、風評被害による買い控えや低迷する市内の消費需要の喚起、地域経済の活性化を図るため、プレミアムつき商品券事業の支援に努めていきます。



風評被害対策の一環として、地元産品の安全性をアピールする「風評被害を吹っ飛ばせ! スカイスリーフェスタ」を開催(茨城空港ターミナルビル前)

#### Q 公共施設の復旧状況は

A 市長公室長 今回の大震災では市内の小中学校、幼稚園、また庁

舎を含め、ほとんどの公共施設が被害を受けており、現在、2次被害の防止に努めるとともに、1日も早い復旧を目指して災害復旧計画を策定し、学校等教育施設を含む公共施設、道路等について、分野別の基本目標に掲げ事業を進めているところです。

施設の復旧状況は、学校給食センターについては、夏休みを利用して修繕を行います。ほとんどの施設が短期事業として、9月末日の完了を予定しています。また、受水槽交換やプール周辺工事のある納場小学校や今回の補正予算に計上している美野里中学校の外トイレ復旧工事については、年度内の完了を目指しています。

道路の復旧については、応急修繕を行った後、災害復旧工事に係る国庫補助、特別措置等の制度を活用し、本復旧に向けて取り組んでいます。

今後も市の財政状況を鑑み、有利な財源を活用するなどし、将来的なまちづくりの観点からは、災害に強いまちづくりを目指して取り組んでいきます。



関口 輝門

**Q . 未曾有の大震災、復旧復興事業最優先に  
スポーツシュレ公園建設の先送りを**

**A . 単なる現状の回復ではなく  
夢や希望感じさせるまちづくり推進**

**Q 運動公園の建設先送りを**

大震災により日本経済は生産・消費とも落ち込み、景気の先行き不透明さを増している。市民も大なり小なり被災し、修繕費等の捻出に困窮している状況下、大型開発事業を先送りし、震災から心身のケアを含めた復旧・復興を最優先すべきでは。

**A 教育長** スポーツシュレ公園

事業は合併後の新しいまちづくりを展望して計画し、これまでさまざまな議論と見直し、法的手続きを経ながら進めてきた未来志向型の事業であり、本市の復興に繋げることを強く意識しています。

本事業の財源は、まちづくり交付金と合併特例債（この償還は、算入予定の地方交付税と県補助金を充当）の発行によるもので、理論上一般財源の持ち出しはありません。このため、財政面では、災害復旧・復興事業への影響は避けられますので、市としては、災害の復旧・復興を最優先に進めてまいります。

スポーツは、人々に大きな感動や楽しみ、活力をもたらすものであり、明るく豊かで活力に満ちた社会を形

成する上で欠かすことのできない存在でありますので、本事業の推進にご理解をお願いします。

**Q 遅れている公共・学校施設の耐震・改修対策を早期に**

**A 教育長** 現在、学校施設の耐震改修は耐震診断結果に基づく計画により、H27年度末に90%にする目標で実施しています。

H22年度は上吉影小学校の校舎及び体育館、羽鳥小学校校舎、納場小学校体育館の耐震補強工事を実施し、堅倉小学校校舎改築工事と小川南中学校の耐震補強工事は、H23年度までの2カ年継続事業として実施しており、H22年度末の耐震化率は小中学校で58・8%です。この震災の影響により、一時は事業の一部先送りの可能性があったわけですが、現在、予定どおり計画に沿って実施できる運びとなっております。

今後、国の復興予算に関連して、耐震化等の財源確保が厳しくなることも予想されますが、危機意識をもって児童生徒の安全確保のた

めに鋭意努力していきます。

**Q 道路等の被害状況精査し  
速やかな復旧対応を**

**A 副市長** 震災による道路の亀裂、陥没等の損壊箇所は市内で139カ所に及び、復旧については、県による災害査定が済むまでは被災箇所の応急的な補修に留めて、損壊状況が確認できる状況を残しておかなければなりませんでしたが、5月30日からの査定の結果、申請した17件の全件が採択を受けることになりました。この17件は速やかに復旧工事を進めていきます。



市内139カ所で道路の亀裂、陥没等の損壊が生じ、被災箇所の応急措置や道路上の障害物の除去作業が行われた  
(花野井川付近)

## Q. 今回の災害時の経験を活かし 弱者対策含む防災行政の見直しを

### A. 停電による機能不全踏まえ 防災行政全体を見直していく



戸田 見成

#### Q 総合的な防災行政の見直しを

災害対策本部を本庁に設置できなかったということは、大変残念なこと。停電、断水、情報の混乱など災害時の問題点が多々浮かんでくるが、これをきっかけに総合的な防災行政を考えていくべきではないのか。また、支援を必要とする弱者への対応は。

**A 市民生活部長** 市では、地震発生後、直ちに非常体制をとり、災害対策本部の設置体制に入りましたが、強い余震が断続して発生しており、本庁舎の壁や柱に亀裂が入るなど庁舎内では適正な災害対策活動が行えないと判断して、比較的損傷の少ない四季文化館（みのゝれ）に対策本部を移設しました。

また、大規模地震により一斉に安否確認等が行われ、固定、携帯両電話が使用不可能状態に陥り、重大な情報の入手が困難にとなったため、災害対策に多大な支障をきたしました。さらに、非常時の情報提供に非常に重要な手段となるはずの防災行政無線が、停電後間もなく機能が停止し、消防本部

の消防車による広報活動を行いましたが、これも十分な情報提供ができず、市民の皆様にも多大な不安とご迷惑をおかけする結果となりました。また、水道施設も停電により、各井戸に設置してあるポンプの停止、あるいは水道管の破損により断水が生じました。

今後は、これらを深く反省し、災害に強い、特に停電に強い施設整備を目指し、総合的な防災行政を見直していきます。

また、生活弱者に対する対応ですが、支援を必要とするひとり暮らしの高齢者や障害者の方々を対象に、社会福祉協議会、民生委員の方々にご協力をいただき自宅訪問をし、安否確認をしながら、応急食料の優先的な支給や炊き出しによる温かいおにぎりの提供等を行いました。また、保健師や看護師による巡回等と併せて避難所の斡旋、または震災による被害を受けた施設入所者の避難誘導などを行いました。今後も、関係団体やボランティアの方々と連携を強化し、より迅速な対応が図られるよう調整していきます。



災害ボランティアと福祉員が協力し、支援を必要とするひとり暮らしの方等を対象に瓦の片付け作業を行った

#### Q スポーツシニール事業は

**A 教育次長** 今回の震災による復旧・復興が最重要ということは言うまでもありませんが、本事業の見直しではなく縮小となると、市にとりましてスポーツの振興、経済的波及効果、地域活性化、健康維持増進など本事業の目的が達成できなくなるのが容易に予想されますので、本事業を縮小するのではなく、計画の一部をよりよく見直すことを前提に本事業の実現を目指していきます。また、見直しの内容については、できるだけ早い時期にスポーツ関係者をはじめ市民の皆様にお伝えするとともに、市民協働の体制づくりに邁進し、市民の皆様の元気回復の原動力となるよう努めます。

4月

- 7日 市内小学校入学式
- 8日 市内中学校入学式
- 9日 文化協会総会
- 11日 市内幼稚園入園式
- 12日 臨時議会
- 13日 病院事業運営評価委員会
- 15日 小美玉市教育研究会総会
- 19日 県知事要望
- 20日 ふるさとふれあいまつり実行検討委員会
- 22日 市老人クラブ連合会 小川支部総会
- 区長会総会
- 第35回水戸法人会美野里地区会第1回通常総会
- 区長会役員歓迎会
- 23日 美野里町農業協同組合通常総代会
- 議会OB会総会
- 小川婦人防火クラブ総会

5月

- 7日 PTA連絡協議会総会
- 9日 桜川市議会給食センター視察研修受入
- 11日 コミュニティ連絡会総会
- 12日 身体障がい者福祉協議会総会
- 13日 国際交流協力役員会・総会
- 17日 まちづくり審査会
- 19日 商工会平成23年度通常総代会
- 20日 県東市議会議長会定例会

6月

- 21日 女性会連絡協議会総会
- 24日 市町村長・市町村議会議長会議
- 25日 やすらぎの里小川運営委員会
- 石岡地区交通安全対策推進協議会総会
- 霞台厚生施設組合臨時会
- 老人いこいの家小川温泉寿荘運営協議会
- 26日 石岡地区防犯協会総会
- 環境保全小美玉市民会議役員会
- 市スポーツ振興審議会
- 市建設業協会通常総会
- 社協理事會評議委員会
- 27日 百里飛行場周辺整備協議会総会
- 文教福祉常任委員と民生委員との懇談会
- 茨城県市議会議長会定例会
- 30日 熊本県菊池市議会議員視察研修受入
- 湖北水道企業団定例会
- 31日 食品公社株主総会
- 1日 (仮) 空の駅整備事業推進委員会
- 2日 湖北環境衛生組合定例会
- 議会運営委員会
- 6日 石岡地方斎場組合臨時会
- グループホーム開所式
- 10日 議会運営委員会
- 17日 全体研修(18日)
- 22日 農業振興地域整備促進協議会
- 24日 (社) 百里地域振興協議会通常総会
- 28日 市茨城空港利用促進協議会総会
- 空港利用促進協議会
- 29日 第3回市公共交通検討委員会
- 30日 市まちづくり組織連絡会総会

報 告



前市議会議員の橋本政美氏が、5月16日ご逝去されました。橋本氏は、平成8年3月、旧玉里村議会議員に初当選し、以来3期連続10年、また、町村合併後は、小美玉市議会議員として5年3カ月、計5期15年余にわたり、議会人として活躍されました。

旧玉里村では、経済常任委員会委員長、霞台厚生施設組合議会監査委員として活躍され、また合併後は、市民経済常任委員会委員長など数々の要職を歴任されるなど地域発展のためにご尽力されました。

生前のご功績に感謝申し上げるとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

～ 議会を傍聴しませんか～

議会の本会議は本庁舎3階の本会議場で行います。議場での傍聴は、議会が開催される当日に受付をするだけです。

また、より多くの皆さんに本会議をご覧いただけるよう、本庁舎・各支所1階ロビーに設置するTVモニターでの同時放映を行っています。どうぞご利用ください。

庁舎1階ロビーTVモニターで同時放映



本庁舎・各支所の1階ロビー、本庁舎3階の議場前の計4カ所にTVモニターを配置→

## 第20回プレゼントクイズ

\*答えは議会広報 第22号の中にあります。

問題は3つです。答えを書いて、下記の応募方法によりお送りください。正解した方の中から抽選で10名の方に、森のレストラン“キャトルセゾン”（四季の里内）のお食事券1,000円分をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしています。

問① 平成23年第2回定例議会で審議された議案等は全部で〇〇件？

問② 次回の一般選挙から適用される議員定数は〇〇人

問③ 次回の平成23年第3回定例議会の開会日は9月〇日？

### ◇応募方法

はがき・FAX・Eメールにて、住所・氏名・クイズの答えを明記してご応募ください。  
また、議会や本紙に対するご意見やご感想を併せてお寄せください。

### ◇応募メ切

平成23年8月29日（月）まで \*当日消印有効

### ◇応募先

〒319-0192 小美玉市堅倉835 “小美玉市役所 議会事務局”宛  
FAX：0299-48-1199 Eメール：gikai@city.omitama.lg.jp  
☆応募に関する個人情報は、プレゼントの送付以外には利用いたしません。

## 第19回クイズの当選者

40通のご応募をいただきました。  
当選者は以下の方々です。

田村 匡弥さん 中嶋 浩子さん  
田川 晴代さん 斉藤 美喜子さん  
井坂 みつさん 高橋 早苗さん  
渡辺 富子さん 馬場 フミエさん  
井坂 和子さん 矢口 博子さん

## 第19回クイズの正解

問① 平成23年度の当初予算の総額は？

[答 → 334億7,574万円]

問② 石岡小美玉スマートICが開通したのは？

[答 → 3月24日]

問③ 第2回定例議会の開会日は？

[答 → 6月3日]

## 皆さんから寄せられた声です

～クイズ応募者、傍聴者の方から寄せられた声を掲載しています～

- ▶ 千葉県から引越して3年目になります。海に山にたくさん見所があり気に入っています。震災に負けないで頑張りましょう。(羽鳥・女性)
- ▶ 茨城空港の見学デッキについて、百里航空基地との併用は理解していますが、滑走路の離着陸が見えるよう改善を。(幡谷・女性)
- ▶ 福島原発事故により、茨城県の農産物も色々な影響を受けています。小美玉市もかなり不条理な風評被害があると思いますが、共に頑張りたと思います。(中野谷・男性)
- ▶ 今回の大地震で停電や断水になり不安でしたが、給水場所が設けられ心強かったです。(西郷地・女性)
- ▶ 傍聴することは出来ないけれど議会広報は勉強になっています。(羽鳥・女性)
- ▶ 茨城空港は開港1年が経過しましたが、「空港テクノパーク」の完成は何時頃になるのでしょうか？楽しみにしております。  
(小川・女性)
- ▶ 東京から越してきたのですが、近くに幼児が遊べる公園がないことに驚いています。近くに小学校はあるのですが、休日開放がなく利用できないのも残念です。幼児は、広々とした公園やその遊具でのびのびと遊ばせたいです。  
(与沢・女性)
- ▶ 今回の大地震、60年生きてきてはじめての体験となり、改めて危機に対する認識の甘さを反省しております。防災について真剣に考え直していかなければならないと思いました。(与沢・女性)

**ご意見・ご感想をお待ちしています**

# 合併から5年、再び議員定数を削減！

6月定例議会の最終日、現在の議員定数24人から2人減し、22人とする条例改正案を全会一致で可決しました。今回の議員定数の削減は、全国的な議会改革の流れの中で、他の同規模の市議会と比較検討等の結果、今回の決断がなされました。この改正後の定数は、平成23年11月20日に予定されている市議会議員一般選挙から適用されます。



議会改革の火付け役「北海道栗山町議会」を視察

## 【検討経過】

H22.9月 県内他自治体の削減の状況を受けて、議員定数等を調査検討するため特別委員会を設置。

H22.11月 計4回の委員会を開催。県内の類似～H23.6月及び先進自治体の状況の視察を行う。また、委員会での検討経過を随時報告。

## 【合併からの削減経過】

時期	条例で定めた定数
合併まで H18.3.27	50人 (小川18、美野里18、玉里14)
H19.11	24人 (H18年12月議会で条例改正)
H23.11 予定	22人 (H23年6月議会で条例改正)

## 【決定までの各意見等】

- ・近隣自治体との整合性を図るべき
- ・人口、面積、財政力などから適正数を検討すべき
- ・削減ありきの民意を汲み入れるよりも、議員自ら襟を正し、適正数は確保すべき
- ・行財政改革推進の中で定数減は止む負えない
- ・合併後すでに定数は半分以下、これ以上の削減は地域の声を届けられない
- ・多様な民意を反映するのが議会、若年層も魅力を感じ得る報酬対価を併せて検討すべき

## 議員の寄附はダメ！ 市民が求めるのもダメ！

議員が市民（選挙区内）にお金や物を贈るなどの寄附をすることは、法律（公職選挙法）により原則禁止されています。

また、市民（有権者）が寄附を求めることも禁止されています。



## 編集後記

東日本大震災の発生より、はや4カ月が経ちました。未だに終息の目途が立たない、福島第一原発事故での放射能汚染問題は、福島はもとより広く国内全域に影響を及ぼしております。

梅雨が明け、澄みきった青空の下で夏休みを迎えた大勢の子ども達が、プールで歓声を上げている光景が見られるようになりました。ところが地域によっては、放射能の影響により、遊び場を失ったところが出てきていることは非常に残念であります。

原発事故の一日も早い終息を切望するとともに、大震災で被災された多くの市民の方々の復旧復興を議会の立場でお手伝いをする事が急務であると思っております。

これからも「子ども達が夢と希望を  
持てる小美玉市づくり」に全力を挙げて  
いきたいと思っております。  
(藤井)

発行編集責任者

議長 野村 武勝

議会広報委員会

委員長 藤井 敏生

副委員長 小川 賢治

委員 山口 良元

福島やヨシ

山本 信子

岩本 好夫

中村 強